

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3143

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B28	生物多様性保全総合対策事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	生物多様性基本法、生物多様性国家戦略、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律			宣言項目 分野施策	051247 生物多様性の保全	SDGsゴール SDGsターゲット
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>多種多様な動植物が生息・生育できる自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持するため、希少野生生物の保護や外来生物の駆除を県民他多様な主体の参加により行う。</p> <p>(1) 生物多様性保全推進事業 △29千円 (2) ムサシトミヨ保全対策事業 △11千円 (3) シラコバト保全対策事業 △8千円 (4) アライグマ計画防除実施事業 △114千円 (5) 新規侵入外来生物対策事業 △86千円 (6) 外来カミキリ対策事業 △348千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 生物多様性保全推進事業 507千円 → 478千円 現行の埼玉県生物多様性保全戦略の検証を行い実効性のある次期戦略改訂に向けた検討を行う。また生物多様性保全推進に向けて、関係機関の連携体制を整備し、身近な活動事例を公開し県民参加による取組を推進する。</p> <p>イ ムサシトミヨ保全対策事業 23,205千円 → 23,194千円 県の魚であるムサシトミヨの生息地元荒川の水源維持と、保護センター等で個体の保護増殖を実施する。</p> <p>ウ シラコバト保全対策事業 4,054千円 → 4,046千円 野外のシラコバト個体数の変動を見守り、保護増殖施設を確保し、飼育下個体の野生復帰に向けた検討を行う。</p> <p>エ アライグマ計画防除実施事業 39,549千円 → 39,435千円 「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づくアライグマの防除を計画的、適切に実施する。</p> <p>オ 新規侵入外来生物対策事業 731千円 → 645千円 新たに侵入が確認された侵略的外来生物に対し、早期対応する。</p> <p>カ 外来カミキリ対策事業 6,560千円 → 6,212千円 外来カミキリの県内への蔓延・定着を防止するため、早期対応を推進する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉県生物多様性保全戦略改訂検討委員会等の開催 (年3回) イ ムサシトミヨの飼育分散の実施 (県内2か所) ウ シラコバト生息状況調査の実施、保護増殖施設での飼育、展示 (県内2か所) エ 埼玉県アライグマ防除計画に基づく捕獲等の実施 オ 外来カミキリの県内での蔓延・定着の防止のため早期対応の推進</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 埼玉県生物多様性保全戦略の改訂及び関係機関との連携体制整備により、県内の生物多様性が保全できる。 イ 県の魚で希少な魚ムサシトミヨを継続的に繁殖し保護することで、種の絶滅を防ぐことができる。 ウ 県民の鳥でコバトンのモデルであるシラコバトを将来にわたって保全できる。 エ 農林水産業、人及び生態系への被害を防止することができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 契約差金による減額 △90千円 イ 経費節減による減額 △506千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.4人=13,300千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△596	繰入金					△248	74,010
現計額	74,606	繰入金	6,560				68,046	